一般社団法人 全国ご当地エネルギー協会

→ | 活動地域 | 日本

全国ご当地エネルギーによる 参加型温暖化対策の仕組みづくり

·協働·実装

T160-0008 東京都新宿区三栄町3-9 雷話:03-3355-2212 http://communitypower.jp

6回

つづける助成

年日

知識の提供・普及啓発



4地域 パイロット事業実施数 海外での発表・交流 80% 今年度計画の達成度

活動の全体目標に対する 45% 達成度

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

リースモデル事業の展 探しに苦労した。

■工夫した点 会員団体との協働にお 開においては、地域との いては、綿密に情報共有す 連携が重要になるため、 ることで、短い期間でも迅 その方法やキーパーソン 速に活動を展開すること

ができた。

課題

全国各地のご当地エネルギー事業拡大のため、相互支援的な国内外のネッ トワーク構築と維持・拡大、協働で取り組める新たな社会ビジネスモデルの構 築が課題となっている。

目標

会員団体と協働で、地域主導の新たな分散型モデル事業を立ち上げ、導入 していく。また、国内外のネットワークを構築することにより、経験・情報・ノウ ハウの共有化を図る。

活動内容と成果

初期投資を低額で抑えることが可能な「リースモデル事業」の導入を積極的 に支援し、会員団体4地域で分散型ソーラーシェアリングの設備認定50箇所 を達成することができた。また、リースモデル事業により、当協会自身が事業実 施主体となる太陽光発電所(1.8MW)を、 会員団体との協働により設置することが できた。さらに、初の「ご当地電力証明書」 の認証を行い、地域に貢献する自然エネル ギーについて、エネルギーユーザーへPR する基礎的な仕組みを構築することがで きた。



今後の 展望

今後は、リースモデル事業を活用し、ご当地エネルギーを さらに拡大していくとともに、国内外のネットワークの充実 化を図る。また、ご当地エネルギーの社会認知度向上を目指 し、広報活動にも注力していく。